

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



急流を跳ねるアユ
絶景を遊工するアユを笠状の
網で捕る「笠網漁」が、昔
新城市出流を流れる豊川
（豊川川）の鮎漁が始まった。

約四百年前か
ら続く伝統漁法
で現存は地元
住民でつくる
「出流鮎漁」存
存が受け継
ぎ、地区三七
戸が交代で漁を
している。
体長一メートルほ
どに成長したアユ
は、落差約四メ
ートルの急流をシ
ャート。
歴に法被姿の保存
会員が約四メ
ートルの急流をシ
ャート。
歴に法被姿の保存
会員が約四メ
ートルの急流をシ
ャート。



▲ 新東名高速が工を通る、絶風の絶景の場所。

桑・蚕・繭
を暮らして活かそう!!
かつて日本で養蚕が盛ん
だった頃には蚕の飼と甘る
桑の畑が各地に広がって
いました。
しかし近年日本の里山は手
入れする人も減り荒れた
耕作放棄地が増え、
その対策が地域の課題と
なっています。
私たちは子どもたちに稲系
がどのようにできるのか、
その一つ勉強のために一
つ本物の繭を提供し
たいです。

ネイチャーランド新城市
鮎漁は新城市の天然記念物
として全国の鮎漁が見物になる



▼ 海野さん91歳現役で頑張っているおばあちゃんです。



▼ 桑をたべる蚕もうこえな
場面を見ることも出来ず存る。

